

# 県立高校魅力化きらめきプラン

## ～熊本県立高校のさらなる魅力化と新たな情報発信～

### はじめに

本県では、主に熊本市外に立地する県立高校を中心とした入学者数の減少に伴う諸課題や、社会情勢の変化に伴う本県高校教育へのニーズの変化・多様化に対応した高校教育の充実を目指し、令和2年度に外部有識者による「県立高等学校あり方検討会」を開催した。令和3年3月の提言（以下「あり方提言」）を踏まえ、「魅力ある学校づくりに向けた14の取組」（下記①～⑭）に注力し、新しい時代に対応した「すべての高校生が夢に挑戦できる魅力ある県立高校」を実現するための取組を推進している。

- ①熊本スーパーハイスクール(KSH)構想
- ②先進的な科学技術やIT技術を学ぶ学科等の設置検討
- ③国際バカロレア認定校・学科等の設置検討
- ④総合学科やその他の新たな学科等の設置検討
- ⑤高大連携の推進
- ⑥「県立高校 One Team プロジェクト」[高校間連携]
- ⑦「地域との連携による未来人材共育プロジェクト」
- ⑧遠隔授業等による小規模校の教育の充実
- ⑨高校のICT教育日本一の具現化
- ⑩「進学サポートシステム」の構築
- ⑪少人数学級編制の検討
- ⑫ICT環境整備
- ⑬施設長寿命化
- ⑭入試制度のあり方検討

### 1. 「県立高校魅力化きらめきプラン」概要

これら14の取組に沿って県立高校の魅力づくりを推進する事業が「県立高校魅力化きらめきプラン」

（以下「きらめきプラン」）であり、「あり方提言」を踏まえ、令和3～6年度の4年間は新たな再編統合は行わず県立高校の魅力化に注力することとしている。主な取組は次のとおり。

- ア 学校の特色化・魅力化のための取組
- イ 教育内容の充実のための取組
- ウ 情報発信のための取組

以下、上記ア～ウに沿って、実践例を中心に「きらめきプラン」について紹介していく。

### 2. 学校の特色化・魅力化のための取組

#### (1)熊本スーパーハイスクール(KSH)構想 →14の取組-①

「きらめきプラン」の中核が「熊本スーパーハイスクール(KSH)構想」である。令和3年度にスクール・ミッションを策定し、全県立高校の特色を明確化した上で、各校をイノベーションハイスクールなどの県指定、スーパーサイエンスハイスクールなどの国指定に加え、特色ある学科などによって際立たせ、すべての県立高校を「熊本スーパーハイスクール(KSH)」として位置付け、特色ある教育活動を行い発信している（情報発信については後述）。各指定校で先導的な研究開発等を行い、指定校のみならず県内全域に波及させ、県立高校の魅力化を推進する。本県独自の指定校については、次頁に表で示す。今後は、各学校の特色化をさらに進め、熊本スーパーハイスクール(KSH)として情報発信を強化していくとともに、地域の実情に応じた魅力ある学校づくりに積極的に幅広く取り組んでいきたい。

### イノベーションハイスクール

県立高校のフロントランナーとして、よりよい未来の創造に向けた変革を起こす資質・能力等の育成を目指す。

### プロフェッショナルハイスクール

- ① リーディング型  
産学官連携により、将来のリーダーとしての責任感・使命感・チャレンジ精神等を身に付けることを目指す。
- ② 実践研究型  
産業界等との連携により、地域や社会の健全で持続的な発展を担う力を身に付けることを目指す。

### クリエイティブハイスクール

自治体や関係団体等との連携による探究的な学びを通して、持続可能な地域社会づくりに貢献する人材の育成を目指す。

### エンパワーメントハイスクール

学び直しをはじめとした個別指導の充実を図り、社会で活躍するために必要な力を育成することを目指す。

#### ◇ 本年度の実践例

##### 阿蘇中央高校（クリエイティブハイスクール）

普通科・総合ビジネス科・農業食品科・グリーン環境科・社会福祉科

〈テーマ〉カルデラプラン～阿蘇地域の持続可能な地域社会づくりに貢献する人材の育成～

普通科における総合的な探究の時間「阿蘇学」を通じた地域資源を活用した体験的・実践的な学びや、専門学科（農業）における地域の課題解決や資源を利活用した探究的な学びを实践。学科連携を推進している外部委員によりコンソーシアムが構築され、協働体制が充実している。

##### コンソーシアム委員（7名）

- ・阿蘇市観光課（観光企画）
- ・茅葺き職人（地域伝統工芸）
- ・阿蘇ジオパーク協議会（大学教授）
- ・近隣中学校長（中高連携）
- ・地域NPO代表（コーディネーター）
- ・道の駅阿蘇（商品開発）
- ・介護施設（実習受入）

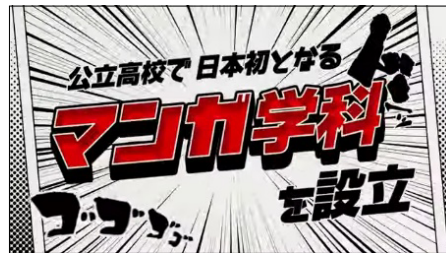


阿蘇中央高校プロデュース弁当（「道の駅阿蘇」と連携して開発・販売）

## (2) 特色ある学科等の設置 →14の取組-④

### ① マンガ学科（高森高校）

令和5年度に公立では全国初のマンガ学科（1学級）を設置する。高森町及びマンガ編集・出版大手の（株）コアミックスから強力な支援を受けている。県教委、高校を含めた4者で「マンガを活用した高森高校の魅力向上に関する協定」を締結している。



高森町 YouTube チャンネルでプロモーションビデオを公開

### ② 国際バカロレア（県立八代中・高）

グローバル人材の育成を目指し、令和6年度に県立八代中学校へのMYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）の試行実施、令和9年度に八代高校へのDP（ディプロマ・プログラム）導入を目指している。認定されれば、九州の公立高校では初となる。



啓発シンポジウム 全体講演（令和4年7月）

### ③ 防災の学び（松橋高校）

普通科地域創造コース（令和5年度設置）において、防災について教科横断的に学ぶ学校設定教科・科目を新たに設定し、地域や職場での防災・減災のリーダーとして活躍できる人材を育成する。



松橋高校 災害時を想定した野外調理の様子



球磨工業高校の生徒にシンドメ作業の説明をする南陵高校の生徒

### ② 熊本工業高校×矢部高校

〈テーマ〉 Jump into Another World ～台湾の高校生との国際交流～

グローバルな視点で産業に携わる人材の育成を目指す両校が、台湾の國立臺北科技大學附屬桃園農工高級中等學校（農業系と工業系の学科を有する矢部の姉妹校）とSDGs（持続可能な開発目標）をテーマにオンライン交流。各校の取組や各国の状況の比較、農業・工業それぞれの視点から意見交換を行っている。交流を通じて英語学習へのモチベーションが上がったという生徒も。また、TSMC（注1）の県内進出を受け、工業の教員が半導体についての講座を行う熊本工業高校と矢部高校合同の交流学习会も実施。本県の重要なパートナーである台湾への理解を深め、生徒の国際感覚を涵養する機会となっている。

（注1）TSMC（台湾積体電路製造）は、世界最大の半導体受託製造企業。



交流学习会の様子

## 3. 教育内容の充実のための取組

### (1) OneTeam プロジェクト →14の取組-⑥

様々な学科・コースがある県立高校の強みを生かした事業。ICTも活用しながら複数の高校が連携して探究活動や遠隔授業等を実施し、教育活動の深化を図る。学校間の多様なネットワークが広がることにより、すべての県立高校が互いに協力し、高め合うひとつのチームとなることを目指す。昨年度は延べ53校、全17プロジェクトが、今年度は、延べ71校、全23プロジェクトが行われている。

#### ◇ 本年度の実践例

#### ① 人吉高校×球磨中央高校×南陵高校×球磨工業高校 〈テーマ〉 ハジアイ（支え合い）でつむぐタテとヨコ～未来へつなぐ、私たちのふるさと～

同一地域の4校が、地元の地域づくり団体「和綿の里づくり」等とともに、各校の各学科（普通・商業・農業・工業）の専門性を生かして種まきから商品販売、PR等を行うことで「ハジアイ（支え合い）」を体験しながら地域活性化をめざす。8月には南陵と球磨工業の生徒が合同で和綿畑の手入れを行った。11月には小学校や保育園、老人会も加わり和綿の収穫が行われるなど、地域との交流も広がっている。

### (2) 企業・自治体等との連携 →14の取組-⑦

地元自治体や企業等と連携することで、教育活動を充実させ、学校の魅力をさらに高めることができる。自治体・

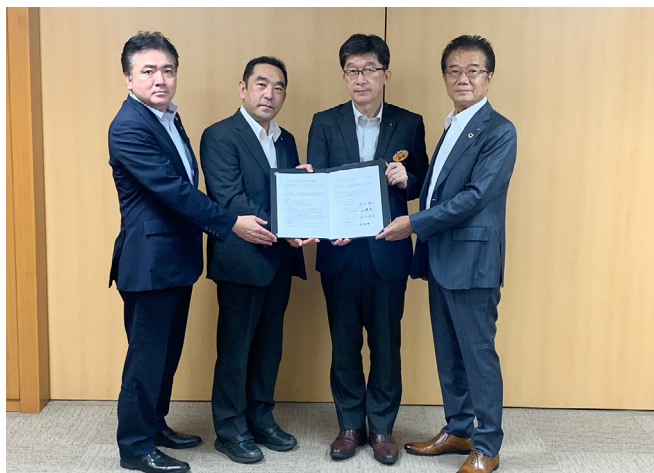
企業にとっては、高校生への働きかけを通じて若者の流出を抑制、又は呼び込むことで、地域活性化に繋げるねらいがある。

#### ◇ 具体例

##### ① 上天草高校（民間企業と自治体による高校支援）

これまでも地元自治体として同校への支援を続けてきた上天草市と、株式会社マリーゴールドホールディングス（総合ブライダル産業、レストラン運営、リゾート開発、サッカークラブチーム運営等）、県教委及び学校の4者間で、令和4年8月に「上天草高校の魅力向上に関する協定」を締結。クリエイティブハイスクールに位置づけられる同校は、これまでも地域との協働による高校の魅力化に取り組んできた。本協定により、新たに次のような支援が行われる。

- ・サッカー部への指導者派遣、合同練習等
- ・キャリア講演会 ・インターンシップ受け入れ
- ・公営塾の開設



協定締結式の様子  
(左から上天草市、上天草高校、県教委、マリーゴールドホールディングス)



合同練習の様子  
(上天草高校サッカー部とマリーゴールドサッカークラブチーム)

##### ② 菊池市公営塾「菊池前進塾」

令和4年4月に、菊池市と県教委が「菊池市に所在する県立高校の魅力向上に関する連携協定」を締結。同市

に所在する菊池高校、菊池農業高校、菊池女子高校（私立）の全生徒を対象にした公営塾が設置された。菊池高校内の施設を使用し、平日 15:30 ～ 21:00 まで無料で利用できる。自主学習が中心。専任講師及び大学生講師による個別対応も用意されている。「広報きくち」7月号に「菊池前進塾」について紹介されている。（下記 URL から電子書籍版を閲覧可能）

クマモトイーブックス <http://www.kumamoto-ebooks.jp/>

##### (3) 産学官連携による産業人材の育成 →14の取組-②⑦ 八代工業高校（マイスター・ハイスクール指定校）

〈事業名〉優れた人材や技術の「X(クロス) (融合)」を追究し、DX時代の夢をつなぐ創造的エンジニアの育成

～くまもとはじまる産業人材育成エコシステム～

文科省の指定を受け令和3年度から事業開始。マイスター・ハイスクール CEO のマネジメントにより、産業実務家教員による最先端の知識・技術を取り入れた授業や、最先端の産業技術を学ぶ企業実習等を実施。デジタル技術の基礎や工業の各分野を横断的な視点で捉え、工業の諸課題を解決できる資質・能力の育成を目指す。また、県産業界との積極的な関わりの中で、新たな価値を創出する等「コトづくり」に必要な力を総合的に身に付けさせ、県産業界に創造的に貢献するデジタルエンジニアを育成する。



産業実務家教員による光ファイバー実習

##### (4) CORE ハイスクールネットワーク構想 →14の取組-⑧⑨

構成校：第一高校・小国高校・牛深高校・球磨中央高校・  
県立教育センター

文科省の指定を受け、令和3年度から構成校間での遠隔授業を行う「くまもと夢への架け橋ネットワーク構想」

と、構成校が連携して地域課題解決に向けた探究活動を行う「くまプロジェクト」に取り組んでいる。初年度は、遠隔授業対象科目の選定や構成校の日課の共通化、評価方法の検討といった諸課題の整理・対応を行い、今年度5科目の学校間遠隔授業を実施している。完成年度の令和5年度には実施科目数を拡大し、生徒の多様なニーズに応じた質の高い教育を実現する高等学校ネットワークのモデル構築を目指している。



遠隔授業の様子（第一高校から牛深高校へ地理Aを配信）

## (5) 高大連携 →14の取組⑤

### 熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）

理数教育発展と科学技術人材育成のため、SSH 指定校を中心としたコンソーシアムを構築し、県教委の指導・助言のもと次のような取組を行っている。

- ・ 課題研究や探究活動への大学教員による研究支援
- ・ 入試制度、単位認定の検討

令和3年度に SSH 5校で発足し、令和4年度に理数科・理数コースを持つ3校が加わった。

## 4. 情報発信のための取組

以上のように、県立高校では様々な取組を行っており、それらを中学生・保護者に周知し、県立高校の魅力を PR するための情報発信に力を入れている。

### (1) 熊本県立高校全 50 校徹底ガイド BOOK

全県立高校のスクール・ミッションや魅力について、主に中学生や保護者に対してわかりやすく伝えるパンフレットを令和3年度から制作し、公立中学校3年生全員に配布している。

## 県央 エリア17校

Central Part of the Prefecture

### 済々黌高等学校

熊本市中央区鳳凰2丁目22-1 TEL 096-343-6195

**普通科**

- ◆ インバウンティハイスクール
- ◆ ネットワークグローバルハイスクール (SSH) ネットワーク
- ◆ 英語フロンティアハイスクール

**世界へ飛躍する多士済々**

本館では、建学以来、変わらぬ本質である「三綱領」の教義のもと、豊かな人間性を重んじ幅広い知識を養うとともに、個性を伸ばすためのカリキュラムを編成し、世界をリードするグローバルリーダー（済々多士）の育成を目指します。済々黌はこれまでも、そしてこれからも、常に時代をリードすべく前進を続けます。

### 熊本高等学校

熊本市中央区新大江1丁目6 TEL 096-371-3611

**普通科**

- ◆ インバウンティハイスクール
- ◆ ネットワークグローバルハイスクール (SSH) コンソーシアム
- ◆ 英語フロンティアハイスクール

**校訓「士君子」**

本校の校訓にある「士君子」とは、徳性・智能・体力ともにすぐれた人格者を指します。自主・自律の精神に富み、互いの個性を認めあい、互いの才能に刺激を受けながら切磋琢磨する雰囲気の中、新時代にふさわしい「士君子」たるべく、「立志実行（＝志を立て実現すべく真摯に取り組む）」を実践することができる環境があります。

### 第一高等学校

熊本市中央区古城町3-1 TEL 096-354-4933

**普通科 普通科英語コース**

- ◆ インバウンティハイスクール
- ◆ ネットワークグローバルハイスクール
- ◆ SSHハイスクールネットワーク

**深とした気品ある心豊かな一高生**

築年創立120周年を迎えます。長い歴史や伝統、文化に育まれて、聡明で、礼儀正しく、誠実に溢れ、毎日、勉学や部活動等に励んでいます。「深」として深々しく文武一進を目指すを合い言葉に、新たな歴史創造に向けて主体的に行動し、活気に満ちた学校生活を送っています。

各校の紹介ページ  
(後掲の熊本県立高校検索ガイドからご覧いただけます)

## (2) 熊本県立高校検索ガイド

ワンストップで複数の県立高校を検索でき、比較可能なホームページを令和3年度に開設。制作にあたり、中高生・保護者・教職員約 200 人にアンケートを行い、その意見を取り入れた。現在のアクセス状況は、1日あたり平均 900 件となっている。

URL と QR コードはこちら

<https://kumamoto-pref-hs.jp/>



## (3) SNS を活用した PR

今年度から中学生になじみのある SNS を活用した PR を開始した。インスタグラム、ツイッターが中心だが、効果的な発信方法について研究を深め、フォロワーを増やすことが課題である。



## (4) KSH 研究成果発表会

県内すべての県立学校で探究活動に取り組む生徒が一堂に会し、それぞれが取り組んだ探究活動の成果を発表

することで、切磋琢磨する機会とする。探究活動に関するポスター発表やOneTeamプロジェクトの報告に加え、実演コーナー（実験教室、ロボット等）を設けるなどして、小中学生や保護者、地域の方々に高校生取組を知ってもらう機会としたい。

※令和5年3月4日（土）予定（グランメッセ熊本）

## おわりに

本県においては全国よりも10年早く人口減少の局面に入っており、少子化や過疎化の進行により、中学生以下の子供の数が減少、特に熊本市外の地域で顕著となっている。加えて、中学生の進路希望が都市部に集中する傾向がある。しかし、令和9年度までは中学校卒業生数が県全体で16,300人前後で推移するため、県教委としては、高校魅力化に向けて非常に重要かつ貴重な期間であるととらえている。

そこで、引き続き「きらめきプラン」に基づき、特に、熊本市外の入学者が減少している高校の取組を重点的に推進していくとともに、今後の県立高校の魅力化に向けては、各学校の運営協議会等における協議や生徒の意見も踏まえるなど、5者（学校、子供、家庭、地域、行政）が一体となった魅力ある学校づくりを推進していきたい。